

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回野田市総合教育会議
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 野田市総合教育会議運営要項の一部改正について（公開） 2 （仮称）健康スポーツ文化都市宣言について（公開） 3 公立幼稚園の在り方について（公開）
日 時	令和4年4月27日（水） 午前10時30分から午前11時50分まで
場 所	市役所低層棟4階 委員会室
出席者氏名	議長 鈴木有（市長） 教育委員会 染谷篤（教育長） 伊藤稔（教育長職務代理者） 飯田芳彦（委員） 高橋保（委員） 永瀬大（委員） 事務局 今村繁（副市長）、牛島修二（市政推進室長）、 宇田川克巳（自然経済推進部長）、山下敏也 （教育次長兼生涯学習部長）、土屋孝之（学校教育部長）、堀江賢司（スポーツ推進課長）、 戸塚進（生涯学習部次長兼教育総務課長）、 安藤剛行（生涯学習課長）、中居章（学校教育部次長兼学校教育課長）、間々田英示（指導課長）、内海孝幸（市政推進室主幹）、蓮沼憲治（市政推進室副主幹）、園田憲明（市政推進室主査）
欠席委員氏名	無し
傍 聴 者	0名
議 事	第1回野田市総合教育会議の会議結果（概要）は次のとおりである。

<p>市政推進室主幹</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定に基づき、個人の秘密を保つため、必要があると認めるとき、又は会議の公正が、害されるおそれがあると認めるとき、その他公益上必要があると認めるときを除いては、会議は原則公開であることを説明した。</p> <p>傍聴の許可、会議資料及び会議録の公表について説明した。</p> <p>会議録作成のためICレコーダーを使用することを報告した。</p> <p>以後の議事進行は、野田市総合教育会議運営要項第2条に基づき、市長が議長を務めるものとされていることから、議長を市長に依頼する。</p>
<p>市長</p>	<p>開会を宣言する。</p> <p>令和4年2月4日に開催の行政改革推進会議の中で、野田市行政改革大綱の一部見直しの答申を受け、今年度より総合教育会議事務局が教育委員会から市政推進室となったこと、教育行政の政治的中立性を確保したまま、市長部局からも教育委員会からも協議を求めることができるようになったこと。教育委員とこれまで以上に^{かつたつ}闊達な意見交換をしていきたいことを述べる。</p>
<p>市政推進室副主幹 市長 高橋委員</p>	<p>議題1「野田市総合教育会議運営要項の一部改正について」事務局に説明を求める。</p> <p><配付資料に沿って説明></p> <p>質疑及び意見を求める。</p> <p>これまでは総合教育会議を年2回、定例的に開催するという規定があった。今回それを削除することで、何回もできるという説明であり、非常に積極的な考え方だと思うが、逆にこの規定がなくなったことで、やらなくても済むという解釈も可能だと思うが。</p>
<p>市政推進室主幹 高橋委員</p>	<p>当然そのような解釈もあると思うが、市政推進室と教育委員会で議題を調整し、そのようなことがないように進めていく。次回には「小中学校のICT教育の現状」を議題として、教育委員会と調整している。</p> <p>例えば年1回は最低でも開催するという規定の仕方もある</p>

<p>市長</p>	<p>と思い、質問したが、説明では、次回の会議の議題も決まっているということで、心配なさそうなので、これでおさめる。</p> <p>今、委員から年2回を開催すると規定した方がよいのではという御意見等もあったが、最低2回は開催するというところで、年2回以上と規定するのではどうか。</p> <p>具体的には、改正案の第2条第5項に開催回数を規定し、第6項に前項の規定に関わらず、法第1条の4第4項に規定する教育委員会の求めがあったとき、その他必要に応じて随時、総合教育会議を招集することができるということを入れ、その後は順次繰り下がることでどうか。</p>
<p>市長 飯田委員</p>	<p>ほかに意見を求める。</p> <p>改正案で、協議題及び協議事項が削られているが、新たに設けた連絡調整会議が受皿になるからという解釈でよいか。</p>
<p>市政推進室主幹</p>	<p>所掌事務については、改正案の第1条の3で改めて規定している。</p>
<p>市長</p>	<p>ほかに意見はないか。</p> <p><異議なし></p> <p>そのように決定する。</p>
	<p>議題2 「(仮称)健康スポーツ文化都市宣言について」</p> <p><市長から趣旨説明></p> <p>(仮称)健康スポーツ文化都市宣言については、議会でもスポーツ都市宣言をしたいと申し上げてきた。</p> <p>私が目指す「元気で明るい家庭を築ける野田市」、そのために市民が健康であることが大前提で、都市宣言するに当たり、まず健康都市を目指すことを宣言しなければならないと考えた。</p> <p>なぜスポーツ都市宣言かということで、スポーツには人間力を高める力がある。</p> <p>それと、スポーツには努力、向上心、達成感、悔しさ、反省、チームワーク、そして感謝、感動など、人間力を高め、人として成長し、様々な要素が詰まっている。</p> <p>もちろん、生涯スポーツ、生涯学習という言葉からも人は生涯成長していかなければならない。</p>

<p>市</p> <p>長</p>	<p>また、スポーツを実際に行わなくても、人間力を高められる。例えば、オリンピックや高校野球などを見ると、人々は感動し、努力やチームワークの大切さなど、成長するための様々なことを学ぶ。</p> <p>そこで、スポーツ都市宣言をしようと思ったが、文化も同様だと思った。</p> <p>つまり、音楽活動、芸能活動、子供たちの吹奏楽やマーチングなどの文化活動を通じて、人間力を育むことができ、さらには子供たちが野田市で育まれてきた、豊かな歴史や伝統、鈴木貫太郎翁を始めとする郷土の偉人、自然環境などを学ぶことで、郷土である野田市への誇りや愛着が芽生え、育まれると考えている。</p> <p>近年スマートフォンが急激に普及し、子供たちのみならず、大人までも、スマートフォンがコミュニケーションの中心となったことで、人間関係が希薄になり、いじめや悲惨な事件の原因の一つとなっていると考えられ、さらには、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等があったことから、その傾向がますます強くなっていると危惧している。</p> <p>そのような中、昨年度に東京オリンピック・パラリンピックと冬季の北京オリンピック・パラリンピックが開催され、またコロナ禍で、健康増進やスポーツの推進の機運が高まってきていることや、文化活動も再開できるようになってきたこの時期だからこそ、野田市が健康スポーツ文化都市を宣言する意義は大きいと考えている。</p> <p>そこで重要なのは、宣言の内容はもちろん、どのような手続を経るかということ。市民全体で都市宣言を行うことが重要なので、まず審議会で御審議していただき、市議会議員の皆様御意見も伺いながら、パブリック・コメント手続を実施した上で、市民の代表である議会の議決をいただいて、宣言していきたいと考えている。</p> <p>このため、文化振興を所管する教育委員会の生涯学習審議会と、市長部局のスポーツ推進審議会の合同審議会を開催し、宣言について御審議いただく形がよいのではないかと思います。</p> <p>意見を求める。</p>
-------------------	---

永瀬委員	<p>文化に関して中心となるのは文化会館だと思う。現在、文化会館はワクチンの会場になっているが、国はワクチン接種の見通しが立たない中で、4回目接種を進めていくとしているが、今後の文化会館の見通しは。</p>
副市長	<p>ワクチン接種については、国は、4回目の接種は3回目接種後5か月空けるとしていることから、早ければ7月から4回目の接種がスタートする。ただし、高齢者以外の方の3回目接種が進まない中、高齢者などの4回目接種も、7月、8月で、ほぼ接種希望者への接種が進んでいくのではないかと考えるので、文化会館をずっと閉じるような状態ではなくなるのではないかと思う。</p> <p>秋以降は、ワクチンの集団接種で使用するとしても、毎日ということとはなくなると思うので、予期せぬような病床の逼迫<small>ひっ</small>が起<small>ひっ</small>こらない限り、文化祭等のイベントにも使用できるのではないかと考えている。</p>
伊藤委員	<p>宣言の趣旨説明で、人間力を高めるという話だったが、高齢者人口が増えている中で、寝たきりになるよりは、健康で動いてという部分で、恐らく、クオリティオブライフ、人生の質を高める、あるいは維持するということで、健康が入っているのは大変意義が深い。</p> <p>コロナ禍で、対面での活動がしづらい中で、健康、スポーツ、あるいは、文化が遠隔で共有できるようなインフラ整備をどう考えているか。</p> <p>基本的に、人を集めてスポーツするとか、イベントするのが難しい部分もある。8月には清水公園の付近に大きな児童センターがオープンするが、この児童センターは、小さい子供から、障がいの有無に関わらず、親や祖父母も一緒に来る。そこで、学習も体も動かせる施設となっている。</p> <p>また、毎年、学校に行くと、子供たちから何でもできる遊び場が欲しいという要望があることから、遊休農地の活用ということで、農家と場所を選定しながら、そこで何ができるかを検討している。</p> <p>今、その遊休農地を活用し、施設とまではいなくても、綺麗に整備していれば、そこでサッカーや野球などのほか、</p>

	<p>お年寄りが来て一緒に過ごすこともできる市民が憩う場で、体も動かせる場を整備していきたい。</p> <p>現在、関宿のクリーンセンターの解体工事も終了したので、工場跡にはスポーツができるような広場を、下にある池は、障がい者と子供の釣り大会をやっているのので、その周りを散歩ができるような歩道整備していきたい。それで、様々なイベントなども含めて復活をさせていく。それ以外にも、老朽化した福田体育館を修繕する方向で進めていく。先ほど文化会館のお話があったが、基本的には、おおよそ10月以降にはある程度の方向性が見えてくるのかなという気がするのので、10月以降の文化会館の予約はある程度大きなものは受付し、それ以外の施設は、自由に使用できるようにしていく。それに加え、子供たちやお年寄り、いきいきクラブなどの団体活動にバスを利用するときは、感染対策として、1台に乗車できる人数を半分にし、2台目が必要な場合には、その経費を市で負担し、市民が動けるような形をとっていきたい。</p>
<p>飯 田 委 員</p>	<p>健康という言葉が入って、非常に嬉しく思った。</p> <p>なぜかと言うと、市長の先ほどの話の中で、スポーツを通じての人づくり、元気で明るい健康的な都市づくりを目指すという話の中で、やはり心身ともに健康であることが一番良いと思っている。また、教育委員の一人として1番良いと思っているのは、いじめ、虐待、不登校が、この宣言を通じ、市の運営の中で、何らかの形でも少し強く、取り入れてもらえれば有難い。</p>
<p>高 橋 委 員</p>	<p>やはり元気で明るく毎日過ごせるということは、特に年を取ってくるとありがたいと思っている。</p> <p>そういう意味で、健康であることはまず、非常に大事で、そして若い人たちもいるので、健康でスポーツ、文化、そういったものを通して、人づくりをすると、年寄りもそうだが、人間生活として非常に大事だろう。この文言は、大変うれしく、是非進めていただきたいと思うが、この宣言はいつ頃になる見通しか。</p> <p>また、そのときには何か、広く、市民の皆さんに周知するための、イベントとかそういったものを考えているか。</p>

副市長	<p>イベントについては、市民全体として、宣言をするので、市民参加型のイベントを実施したいが、コロナ禍の中、感染状況等を見ながら、どの程度のレベルでやるのかということを考えていきたい。</p> <p>また、スポーツ推進審議会と生涯学習審議会を市長と教育長からそれぞれ諮問させていただき、議会からも御意見を頂いた後に、パブリック・コメントで市民の意見を伺い、両審議会でも答申を頂いた後に、議会にお諮りしたい。</p>
飯田委員	<p>もう1点、現在、教育委員会では教育の日に、活躍した方を表彰しているが、健康スポーツ文化都市宣言の中で、市長からの表彰なども考えると思うので、できれば教育の日に市長にも来ていただきたい。</p>
市長	<p>教育委員会と調整しながらやっていくが、教育の日ということなので、まずそういう形になると思う。</p>
副市長	<p>協議題については、決定事項ではないが、今後の手続の進め方については、生涯学習審議会とスポーツ推進審議会を同時開催して、議論いただくという形で進めていくことに意見はないか。</p>
市長	<p>意見がないので、次の議題に移る。</p>
市長	<p>議題3 「公立幼稚園の在り方」について 趣旨説明を求める。</p>
教育長	<p><教育長から趣旨説明> 幼稚園を取り巻く環境は、少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化、就労形態の多様化など社会変化によって大きく変動してきた。野田市では、この社会情勢の変化に対応した、簡素にて持続可能な行政経営の実現を推進する計画である「行政改革大綱」に公立幼稚園の在り方を位置付けて検討してきた。平成16年3月改訂の行政改革大綱では、少子化により入園児数が減少していくことに対する検討をし、休園中の関宿北部幼稚園については、以後も入園対象となる乳幼児の増加の見込みがないことなどから、同幼稚園を廃止することとし、関係条例の改正を平成16年12月議会に提案し、廃園が決定された。平成21年2月改訂の行政改革大綱策定</p>

では、本市は私立幼稚園に就園する園児の保護者の保育料軽減のため、私立幼稚園就園奨励費補助金を国庫対象外となる世帯にのみ補助金を給付してきたのに対して、近隣市では全園児を対象に補助金を給付してきたことなどから、低い水準にあることが示された。これは公立幼稚園と私立幼稚園を合わせた市経費は近隣市と比較し、本市が突出しており、補助金が低い水準なのは、公立幼稚園運営経費に多額の経費を要していることによるものと見解を示しながらも、公立幼稚園の保育料や私立幼稚園就園児に対する助成との関係についても十分留意し検討していくこととした。平成 27 年 4 月改訂の行政改革大綱では、園児数の長期減少傾向が顕著となり、公立幼稚園 3 園でも園児の減少傾向は続き、特に関宿地区の就園率が極めて低い水準となっていることから、一人当たりの経費が増大し費用対効果が悪化することについて検討をした。その中で、関宿地区の公私立幼稚園は供給過多の状況で、今後の状況は更に悪化すると考えられたことから、公立幼稚園の統合又は休園を検討する必要があるとされた。その後の平成 31 年 3 月改訂の現行の行政改革大綱では、幼児教育・保育の無償化が実施されることから、その影響を精査しながら、公立幼稚園の今後の在り方について中長期的な視点も踏まえながら検討していくこととした。そして、令和元年 10 月に私立幼稚園の保育料が無料となり、低額で教育を提供するといった公立幼稚園の一定の役割はなくなったが、改めて無償化による影響の検証を実施してきた。関宿地区の公立幼稚園の供給過多による統合又は休園の検討について、関宿南部幼稚園及び関宿中部幼稚園両園の令和 4 年度の 4 歳児クラスの入園希望者が合計で 8 人とどまったことを受け、共同性等を育むためには一定の規模の集団を維持する必要があることや、園舎の状況等を総合的に勘案した結果、関宿南部幼稚園を令和 5 年度に休園し、関宿中部幼稚園を存続させる形で統合する方針を示し、令和 4 年 1 月に開催した説明会で保護者から御理解をいただいた。また、関宿南部幼稚園に令和 4 年度入園する 4 歳児 3 人についても関宿中部幼稚園に転園することについて御理解いただいたことから、方針どお

<p>市 長 飯 田 委 員 学 校 教 育 課 長</p>	<p>り関宿南部幼稚園を令和5年度に休園し、関宿中部幼稚園を存続させる形で統合することを決定した。無償化による影響の検証について、野田幼稚園の園児の状況について調べたところ、問題行動など配慮が必要と思われる園児は、新年長、新年中ともに約半分を占めており、障がいのある園児の受皿となっている部分が大いと考えた。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培い重要である。この時期に質の高い幼児教育が提供され、障がいに早期に気付き、早期からその発達に応じた必要な支援を行うことは、障がいのある幼児にとって、その後の自立や社会参加に大きな効果があると考えるとともに、障がいのある幼児を支える家族に対する支援という観点からも、大きな意義があるところである。このように、発達上の支援を要する園児の割合が近年増加している状況に対応するため、野田幼稚園がその中心的な役割を担い、私立幼稚園を含めてインクルーシブ教育を推進していく必要があるとの考えに至った。野田幼稚園における3年保育の実施については、これまでもプレ幼稚園「こぼとプレルーム」に通っている子供たちの中に支援が必要な子が見受けられ、私立幼稚園に入園できない一定数の家庭から要望があったので、年度途中のできるだけ早い時期に実施することとして、令和4年10月の受入れを目標としていきたいと考えている。支援が必要な子供たちは、野田地区だけでなく市全体にいる。また、障がいのある園児の受入れは、公立幼稚園だけでは担うことはできないものと考えている。今後、私立幼稚園が支援を必要とする子供たちを受け入れやすくするためにも、職員の加配を配置できるように市としても私立幼稚園を支援していく必要があると考える。市として一丸となってインクルーシブ教育を推進していくためにも私立幼稚園に対しての加配の補助制度も御検討していただけたらと思う。</p> <p>意見を求める。</p> <p>「こぼとプレルーム」は、幼稚園に入る前の子供の支援なのか、それとも発達障がいを持った子供への支援として、公立の幼稚園だけで運営されているのか。</p> <p>「こぼとプレルーム」は、野田幼稚園の未就園児向けのプ</p>
---	---

<p>飯 田 委 員 学 校 教 育 課 長 飯 田 委 員 副 市 長</p>	<p>レ幼稚園として、8月を除く、6月から2月までの間、2歳児及び3歳児を対象に、体験入学の場として設けている。</p> <p>3歳児は月2回、2歳児は月1回で、9時半から10時30分までで、障がいがある子もない子も、分け隔てなく受け入れている。</p> <p>インクルーシブということか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>私立幼稚園に対する職員加配への補助の現状は。</p> <p>障がい児のための加配の補助は、現在は行っていない。</p> <p>発達障がい等でグレーゾーンと言われる子供たちが多く通所しているので、保育所では加配に対する補助を行っているが、現在、幼稚園は行っていない。</p> <p>教育長からの説明を伺い、私もそこまで知らなかったが、野田幼稚園も関宿でも、発達の疑いのある子が多くいて、公立は2年保育で、3年保育を行っていない。幼稚園についても教育するのに加配が必要であり、私立幼稚園でも障がい児の受入れを頑張っていたが、経費的に難しい面もあるので、職員加配への補助はしなくてはということ。職員加配への補助だけで十分かという、私も野田幼稚園の園長と会って、野田幼稚園の現状を聞いたが、発達の疑いのある子が相当数いるので、私立幼稚園で全部受け入れるというのは、まず無理な状況だと思う。そのため、野田幼稚園もインクルーシブ、今まで通りかつ3年保育にしてしっかり健常児と同じような教育をしていく必要があると考えている。</p> <p>ただし、全部受けきれないわけではないので、私立幼稚園にも支援をして、市全体公私で、障がい児教育もしっかりやっていきたいということで、今後、市長と考えていきたい。</p>
<p>市 長</p>	<p>公立幼稚園に行きたいが、3年保育でないから行けない、というのと、やはり発達障がいと見られるようなお子さんたちが、なかなか私立幼稚園で受け入れてもらえない部分があって、何とか公立幼稚園でも3年保育ができるようにしてほしいという保護者からの意見もあった。</p> <p>その中で私立幼稚園に関しては、先ほど副市長から話があったように、保育所には、加配の手当をしていたが、幼稚園</p>

高橋委員	<p>には、今までそういう支援をしていなかったのので、今後支援をしていき、私立でも、そういうお子さんたちを受け入れてもらえるような形をとりたいという提案になる。</p> <p>今の市長、副市長さんの話を聞いて、有難いと思った。インクルーシブをやるには、絶対人手が必要だと思う。定数でやられたら、恐らく、入っている子供たちがいないがしろにされてしまう心配もある。そういう意味では、今の野田幼稚園の先生方、大変苦勞していると思うので、手当をしていただければ、有難い。</p> <p>あわせて、関宿南部幼稚園と中部幼稚園を統合するということが、保護者の皆さんから理解をいただいたということだが、実際にはいろいろな意見があったと思う。それで、保護者会の折に出た主な意見を、参考までに教えてほしい。</p>
教育次長	<p>説明会は、関宿南部幼稚園、関宿中部幼稚園それぞれ、1月に実施したが、まず、休園となる、統合される方の関宿南部幼稚園で実施したが、統合への反対意見はなかった。</p> <p>ただ、統合には反対しないが、なぜ関宿南部幼稚園を休園し、関宿中部幼稚園に統合するのかという質問があった。</p> <p>その点については、関宿南部幼稚園は、木造住宅であり、耐震性がないことから、使用を継続するには耐震の工事も必要になり、工事の間は保育を行えないということ、地域の子供が関宿中部地区の方が多いう点を説明し御理解いただいた。</p> <p>それ以外には、園服の肩のラインの色が違うということで、それを買い換えなければならないのかという質問も出され、関宿中部幼稚園で卒園生から寄附されたりサイクル制服もあるので、お渡しすることもできると説明し納得いただいた。</p> <p>また、なぜ廃園でなく休園なのかという質問があり、関宿南部幼稚園の園舎を、今後、ほかの目的で使用できないのかも含め検討したいので、その間は休園させていただきたいと説明し、御理解いただいた。</p> <p>関宿中部幼稚園での保護者説明会では、説明会時点では意見も質問も全く何もなかったが、説明会終了後、数名の保護者から、統合に合わせて3年保育も考えてもらえないかという話があった。市として今、野田幼稚園の3年保育をまず考</p>

伊藤委員	<p>えており、関宿中部幼稚園の3年保育は、統合に合わせるの は難しいので、野田幼稚園の導入後に検討させてもらいたい と説明し、御理解いただいた。</p>
教育長	<p>今、統合についての保護者からの意見は大体想像ができた が、教育長からの説明の中で、今後、野田幼稚園でインクル ーシブ教育にしていくために、そういう学級を設けたいとい うことだと思う。野田幼稚園は、園児のバス送迎がなく、保 護者が、登下校時は責任を持って送り迎えをするということ だと思うが、関宿地域の方から野田幼稚園までは通うには遠 いので、関宿中部幼稚園にも、そこにも同じような教室を設 けることも検討いただきたい。</p>
市長	<p>野田幼稚園の場合、特別に支援が必要な子供たちの学級を 新たに作るということではなく、教諭と一緒に勉強すること で、その学級の中に入って、教育をするというシステムを考 えている。そのため、必要に応じて、今後、関宿中部幼稚園 にも、新しい学級を作るということではなく、何人かの職員 を加配することによって人数を増やすことも視野に入れて考 えていく。</p>
市永瀬委員	<p>ほかに意見を求める。</p> <p>私は、関宿中部と関宿南部幼稚園で校医をやって、20年近 くになるが、本当にこの20年の間、特にこの5年間ぐらいで、 園児が本当にいなくなってしまうのではないかという勢いで 減っているのが現状である。関宿中部と南部幼稚園の園児数 は相当少ないので、統合するのはとても良いとは思いますが、関 宿中部幼稚園と一つになった後も、どんどん園児が減ってい くのではないかという印象は持っている。</p>
学校教育課長	<p>関宿中部幼稚園まで通うのが、なかなか難しいと思ってい るので、この先、関宿中部幼稚園の在り方も検討しなければ ならない時期も早々にくるのではないか。</p> <p>また、野田幼稚園では校医をやっていないので分からない が、やはり支援が必要な子供が年々増えている傾向なのか。</p> <p>年々増加傾向となっている。現在は、新年長32人のうち支 援を要する園児は15人、新年中は、27人中16人という報告を 受けている。</p>

永瀬委員	<p>比率がとても高いと思うが。宣伝して幅広く、支援の必要な子をどんどん受け入れていく方向なのか。そうすると、今度は健常児がなかなか入ってこないのではないかというおそれもあるがどうか。</p>
副市長	<p>野田幼稚園では、それを積極的にということではなくて、現在多いのは、先ほど市長からもあったが、なかなか私立幼稚園では受け入れられない子が多くて、その子たちが集まってきているということもあるので、そういう意味で、幼稚園の加配の補助をしっかりとやって、公私全体で、インクルーシブ教育を進めたいと思う。</p> <p>しかし、数がこれ以上多くなると、野田幼稚園は、教室の数を確保するのが難しい。今のクラスを二つに分け、新たに特別支援学級の教室を確保するのは難しいので、基本的には、クラスは一緒にとということになる。そうすると、数的にもある程度限界があるため、公私で、その辺を支えていくというような方針だと教育委員会から聞いている。</p> <p><ほかに意見なし></p>
市長 永瀬委員	<p>議題の協議を終了し、この際、ほかに自由意見を求める。</p> <p>都市宣言の、題名で健康スポーツ文化、全ての文言をとっているというところで、先ほど飯田委員の話にあった、教育の日の表彰は毎年行われていると思う。その表彰する基準は、教育委員会で決まっていると思うが、その中には、全国大会で3位以内とかの基準がある。しかし、文化の方も、宣言するのであれば、例えば、私が教育委員をやっている、中学生の自由研究で県に選ばれて最優秀賞を3年連続で取った子が、数年前にいた。その子は、全員が提出したものの中から、最優秀賞に選ばれた。しかも、3年連続は、とてもすごいことだと思った。ただ、基準には全国3位以内という基準があって、表彰されなくて日の目を見ていない。だから文化を宣言するのであれば、そういう部分も。文化の全国大会は、吹奏楽ではあるが、それ以外はなかなかない。結構そういうところで頑張っている生徒もいると思うので、そういうのも市長に表彰されたら、世界に羽ばたく頭脳になっていくのではな</p>

<p>市 長</p>	<p>いかと思っている。</p> <p>その件については実は文化・スポーツ推進奨励金というの があって、スポーツの方は、この大会で頑張ったとか、基準 はある。文化の方がなかなかその申請がないのは、知らない という部分もあるだろうが、やはり今、先生がおっしゃった ようにマーチングとか音楽関係は、文化として対象で皆さん 申請をしていただくけれど、それ以外がなかなかないという のは、全国大会がないからだと思う。自分が思うのは書道だ ったり、そろばんであったりも皆、頑張っている子がたくさ んいる。しかし、その子たちにそれが反映されていない部分 があるので、この文化の日に表彰する。教育の日の11月3日 にやる教育の表彰も、そういった形で、もう少し広く、子供 たちが励みになるようなこともしていければいいのかなと私 も個人的に思っているので、その奨励金の件もそうだけど、 教育の日の表彰も、委員会と調整しながらやっていきたい。</p>
<p>市 長 市政推進室主幹 市 長</p>	<p>事務局に連絡事項を求める。</p> <p>次回の会議の開催予定をお知らせした。</p> <p>閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>